



# ROTARY CLUB OF FUJIMI

## 富士見ロータリークラブ週報

第2104回例会 平成30年 9月28日(金)

【セミナー報告】

NO2057

2018-10-5発行

2018~2019年度

国際ロータリー会長 **バリ・ラシン**  
『インスピレーションになろう』

第2570地区 **ガバナー茂木 正**  
『想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する』

【会 長】横田昌則

【副会長】坂本元彦

【幹 事】星野信吾

【副SAA】増田 茂



インスピレーションになろう

【点 鐘】 会長 横田昌則会員

【斉 唱】 ロータリーソング「我等の生業」

【会長の時間】 会長 横田昌則会員

皆さんこんにちは

前回の例会の後、今年度環境委員会の「すわの森」環境整備事業について、市の職員と打ち合わせを行ってきました。当クラブからは私と柳田会員、江沢会員、島田会員の4人ですわの森の現地にて検討してきました。いままで継続してきた、遊歩道の整備を延長する形で今年度も進めるという事になりました。そして今年度は、市からも支援して頂けるという話もありました。地区補助金と市からの支援金で出きる所まで整備するという事になりました。今のところ、11月4日(日)の予定になっていますので皆様のご協力を宜しく願います。



さて、9月になってからバリ・ラシン RI会長からメールにてメッセージが届きました。世界ポリオデーにあわせたイベントの開催について、という件名でした。その内容を紹介します。

ロータリーは今年も、10月24日の「世界ポリオデー」にイベントを開催いたします。本日は皆様に、ポリオ撲滅に関する世界的な認識を高めるため、この日に合わせたイベントを開催することを願うためにご連絡しております。私はロータリーがポリオ撲滅活動を開始する以前からのロータリアンです。1980年4月にロータリーに入会した際、ポリオ撲滅を組織プロジェクトとして実施するといったアイデアはまだ生まれていませ

んでした。また当時は毎年35万人(そのほとんどが子供)がポリオに感染していました。当時のロータリーリーダーたちの ビジョンと、ロータリアンによる長年のご尽力のおかげで今日ポリオの発症数は最小数にとどまっています。このメッセージを執筆している今日現在、野生型ポリオウイルスによる発症数は14件です。(9月4日時点で15件) また、ポリオの常在国は3か国のみであり、野生型ポリオウイルスが伝播しているのは、アフガニスタンとパキスタンの国境地域のみとなっています。

これだけの成果を収めてこれたのは、ロータリーと、世界ポリオ撲滅活動(GPEI)パートナー組織による、長年の粘り強い努力があったからです。ロータリーはこれまで、19億ドル以上集めてきたほか、ボランティアや職員が、多くの時間を費やし、予防接種、ファンドレイジング(資金調達)、アドボカシー活動(政策提言：課題をたくさんの人に知ってもらい世論を喚起し、政策を提言する)など、さまざまな活動に従事してきました。これまでの成果は本当に素晴らしいものであり、ポリオ撲滅の達成は目の前に迫っています。そうは言っても撲滅達成に向けた課題は残っており、引き続きの資金提供が必要です。撲滅が認定されるまで(最後の発症が報告されてから3年)、すべての子供が予防接種を受けなければなりませんし、それには毎年何百万ドルもの資金がかかります。これらの活動が遅れる、または停止してしまうと、これまで何十年もかけて達成してきたこと、すべてを無駄にしてしまうという危険がともないます。この理由から、すべてのロータリークラブが独自の方法で、10月24日の世界ポリオデーにあわせたイベントを開催し、ロータリーによるポリオ撲滅の認識を高めていただきたいのです。

このようなメッセージが届いています。「世界ポリオデー」は毎年10月24日に開催している、ポリオ撲滅活動を紹介する行事です。ロータリーが最優先する活動は、世界でポリオを撲滅する事です。撲滅の決定が認定されるまでは、他のすべてのプログラムに対して、優先されることになっています。今年のGPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)は1988年開設以来30周年だそうです。元々ポリオ撲滅活動は、ロータリーが先駆者であり、その後、WHO(世界保健機関)、UNICEF(国連児童基金)、米疾病対策センター(CDC)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、そして各国政府を含む、官民協同の取り組み組織です。ゲイツ財団では、ロータリーが集めた資金に対し、2倍の額の上乗せが提供されるようです。世界ポリオデーの目的は、世界には現在もポリオが存在し、その撲滅のためにロータリーが懸命に活動していると知ってもらうことです。そしてもう一つの目標が、その活動をロータリアンに理解してもらうことだそうです。ロータリーの友8月号と9月号にも記事が載っていました。当クラブでも財団への寄付は、ポリオプラスの分担金として、一人当たり半期20ドル、年間一人40ドルの寄付をしており、当クラブ全体で、年間約20万円の寄付となっています。私達もポリオ撲滅活動に充分関わっているという認識を、持っているのではないのでしょうか。

【幹事報告】幹事 星野信吾会員

1)例会変更の件

1. 本日は有りません

2)次の書類を回覧します

1. 10月のレート=1ドル112円

2. 新座こぶしRC会報

3. 商工会チャリティー市民

ゴルフ大会成績表

お礼状、

寄付者名簿

4. 会員日より第45号

5. 子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ始動

フォーラムのご案内

10月 6日(土) PM1時30分～

鶴瀬コミセン

6. 第7回夢灯り大市のご案内

10月 6日(土) PM3時～

鶴瀬駅東口駅前通り

7. 富士見ふるさと祭り

10月27日(土) 富士見市役所周辺

8. 第13回つるせよさこい祭り

10月28日(日) AM10時半～

鶴瀬駅西口通り線



3)第5回臨時理事会報告

10月のプログラムの変更

10月 5日(金)

会計報告→変更 卓話 齊籐信夫会員

4)第6回目の理事会は10月5日(金)の例会終了後に開催します。

【委員長報告】

○職業奉仕委員会→委員長 島田敏郎会員

高校生社会体験活動事業所リスト

この事業は県立高校1年生がロータリアンの皆様の企業で就労体験をすることで普段の学校生活では得られない貴重な経験を通じて礼儀作法やルールを守ることの大切



さ、社会の厳しさなど多くのことを学びます。

又、中途退学率の高い県立高校の退学防止を目的とした活動です。こうしたロータリーの支援、協力に対して、県当局、さらに上田清司知事からも高い評価を頂いています。当クラブ対象校はふじみ野高校・実施期間は10月22日(月)～26日(金)の5日間

今年度は下山、石川(きたはら幼稚園、すくすく保育園の2件)、尾崎功、柳田、大坪会員と私の6名の会員の方に受けて頂いております。

○社会奉仕委員会→委員長 森田仁一会員

1. 先日9月9日(日)のカントリー作戦には当クラブ会員14名、ボーイスカウト23名、大人の団員の方20名の参加を頂きました。有り難うございました。



2. 10月27日(土)はふるさと祭りに参加致します。後日詳細はご連絡致します。

○親睦委員会→委員長 萩原喜八郎会員

1. 11月22日(木)夫人同伴移動例会を企画致しました。ヤクルト本社湘南化粧品工場の見学(30分程度)と会席料理です。バスで1時間位で着きます。多勢のご参加をお願い致します。



2. 10月28日(日)は「よさこい祭り」が開催されます。併せてよろしくお願致します。

## ○長根章浩会員

第7回夢灯り大市が10月6日（土）3時～9時まで鶴瀬東口で開催されます。灯籠を幻想的に飾ります。よろしくお願い致します。



## 【出席報告】齊藤 茂会員

9月28日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	45名	10名	
出席数	23名	6名	72.3%

## 【ニコニコBOX】委員長 尾崎孝好会員

長根章浩会員  
10月6日（土）第7回夢灯り大市を開催します。よろしくお願い致します。



萩原喜八郎会員

10月28日（日）鶴瀬よさこい祭り（13回）が開催されます。よろしくお願い致します。

齊藤 茂会員

誕生祝、有り難うございました。

西崎哲章会員

早退致します。

尾崎孝好、齊藤 茂、松本伸一郎、森田仁一会員  
前回欠席しました。 **本日合計¥9000.**

## 【セミナー報告】

### ○R財団部門セミナー報告

#### 委員長 石川 泉会員

8月25日国立女性教育会館にて行われました。

ロータリー財団は、会員皆様のご寄付があってこそ成り立つと言ふことの再確認をしました。寄付は人々の生活を改善し、人生を変え、そして地域社会の発展を促進する為、役立てられます。特に今回はポールハリス・ソサエティ会員の寄付について力を入れていました。（年間1000ドル以上を10年間寄付するものです）余談ですが米山に60億円を寄付した方がいたそうです。又、財団に寄付した一部を利用した地区補助金も有効に活用して下さいとのこと



で、鶴ヶ島クラブのサッカー大会の例を上げて説明がありました。財団の留学生（フェローシップ）に応募する学生が少なく各クラブで多くの候補者を推薦の依頼もありました。

### ○国際奉仕部門セミナー報告

#### 委員長 桑原福治会員

日時 8月26日（日）  
午後1時30分より会場 紫雲閣  
茂木地区ガバナーの挨拶



国際ロータリー活動は世界中でロータリアンが良いことを行う。国際奉仕部門は交流事業と支援事業で成り立っている。最終目的は、次世代の青少年の育成にある。

#### 梅澤部門委員長報告

1. 国際的な見地からロータリアン活動を
2. 戦略委員会との連携の中で活動方針を
3. 基本的教育と識字率向上を図る活動  
今泉記念ミャンマー奨学金支援事業  
ミャンマーブタオの学校建設支援事業  
フィリピン学校図書館建設支援事業  
(深谷ノースRC)  
ベトナム 学校パソコン購入支援事業  
(飯能RC)
4. 水と衛生に関する環境保全事業  
タイ国 飲料水浄化装置の設置事業支援  
パラオ共和国 医療活動の支援

#### 国際支援委員会の活動と事業

田中国際奉仕支援委員長から詳細説明

#### 国際交流委員会の事業

大館委員長から日豪青少年相互訪問事業について事業説明 第42回帰国報告と体験談。

### ○第49期生第1回オリエンテーション(開講式)

日時 8月26日〔日〕国立女性教育会館  
青少年奉仕委員長 吉野欽三会員

#### 開会

青少年交換委員会副委員長

竹内英明

青少年交換委員会委員長挨拶

中島洋志

青少年奉仕部門委員長挨拶

金子 章



## 来日学生紹介

ダイアナ、メキシコ	川越RC
アクセル、フランス	狭山中央RC
アンデイ、インドネシア	東松山RC
ラウラ、イタリア	羽生RC

## 派遣候補生自己紹介

松葉明里、川本RC・ 廣田健人、新所沢RC  
市村真人、所沢東RC・森田梨加、志木RC  
古川ココ、熊谷西RC

## ローテクス自己紹介

## 講話 PG 鈴木秀憲

## ロータリーについて

自分と自分の仕事を磨きながら、地域社会や国際社会で、奉仕する人々の集まりです。

## ロータリーの歴史

1905年でシカゴで発足 後にアメリカ全土へ  
1920年東京RC発足 戦争で一時中断

1949年東京RC再開

1951年川越RC 1953年熊谷 1960年入間

1962年深谷・所沢その後順次に発足し、現在に至る

## 世界のロータリー

会員：約120万人（日本は9万人）

国：約200国と地域

クラブ：約36000（日本は約2300）

地区：約540（日本は34地区、埼玉は2地区、4県で1地区のところもある）

## 閉会

### ○会員増強セミナー報告 会長 横田昌則会員

2018年6月10日東松山紫雲閣に於いて13：00点鐘にて行われました。富士見クラブからは、増強委員長の都合がつかないため、私一人の参加となりました。第1部の基調講演では、『大宮西ロータリークラブ 会員増強への取り組み』RI2770地区大宮西RC高橋秀樹会長の講演がありました。元々100名くらいの会員数だったクラブが、2010年には42名に落ち込んだそうです。パスト会長も多く会員の高齢化もあり、例会もマンネリ化していて停滞感が漂っていたそうです。2010年以降の会員数の推移がものすごいものでした。2011 - 12年度の会長が会員数を3倍にするという目標を立てたそうです。2011年66名、2012年79名、2013年85名、そして今年度高橋会長の会員数は、年度初め108名現時点増強14名で会員数122名だそうです。例会場では紫雲閣でのセミナーと同じくらいの例

会になっているそうです。増強委員長はおそらく継続してやっているようです。

#### その手法として

1. 増強は理論ではなく実践である  
増強は会員全員でやる 会員一人が一人を増強する さらに入会者も一人を増強する この目標計画を必ずやる 会員全員が候補者を2名記入して提出する。そして例会ごとに誰誰さんまだ候補者の提出がないと名指しで指摘され、またその候補者はいつ入会しますかと言われる。増強委員長が憎まれ役、嫌われ役を買って出ているそうです。その方が継続してやられている。会員にその気にさせる熱意と実行力が必要であり、候補者にも直接出向き説得もするそうです。

#### 2. 増強の三本の矢

ロータリークラブとは奉仕と親睦(仲間づくり)とビジネスチャンス

同じ地域で仲間づくりをして仕事に生かす。異業種交流での仲間づくりは情報交換ができ、ロータリーの原点でもあったロータリー内の相互扶助利用し、ビジネスチャンスにする。

#### クラブはどう変わったか

##### 1. 活力のあるクラブ

42名の時は平均年齢63歳、現時点では平均年齢52歳、59歳以下が70%を占めている。5年未満62%、8年未満80%だそうです。その結果今までにない奉仕活動も提案され、財政的にも大きな事業が出来るようになった。その結果クラブの活性化なされ、世代交代もうまくいっている。若返りによって例会に活力が生まれ、若い考え出てくる。ピンクリボン運動の支援、大宮鉄道博物館の夜間貸し切りして小学生を招待する。若手会員のモチベーションを高めるため勉強会を開催する。それを入会イベントも兼ねてやる。例会終了後の30分情報交換会を実施する。会員の仕事のアピール、また仕事に関する相談会を行う。

## 【点鐘】会長 横田昌則会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会	週報担当:西崎哲章
委員長:西崎哲章	副委員長:平岡直也
委員:日鼻 靖	長根章浩 浅見隆広